

2015年11月 第14号



日本学校心理士会東京支部

## 巻頭言

東京支部長（東京成徳大学 教授）田村 節子

東京支部の今年度の嬉しいニュースとして、臨床発達心理士東京支部主催「特別支援教室 臨床発達心理士等（巡回）事業」に学校心理士も新規参入したことがあげられます。これは東京都の小学校の通常学級に在籍しているすべての子ども達が在籍校で指導が受けられるように、各小学校に特別支援教室を設置し、有資格者が巡回して指導を行うことを目指す事業です。臨床発達心理士東京支部の方々のこれまでの巡回活動の成果が、東京都教育委員会の信頼を得たことが基盤になっています。そこへ学校心理士も参入できることになったことは、特別支援を必要としている子ども達や保護者、教師への援助に強いということが認められた証でもあります。また三次的援助サービスの充実にさらに寄与できる場を得たことになり大変画期的なことです。検査やコンサルテーション等の高い専門性を要求されますが、ぜひ、関心のある皆様にはこの事業に携わっていただき、学校心理士としてのそのお力を子ども達のために発揮していただけますとありがたく思っております。

また、今年度の東京支部の研修会テーマは、「子ども・保護者・教師をめぐる課題を考える」です。子ども達への関わりは年々難しくなり、それに伴い保護者対応も難しく教師のストレスも多くなっております。心理教育的援助サービスの充実のためには、子ども・保護者・教師を巡る課題をひとつひとつ解決していくことが求められます。

今年度の「子どもをめぐる課題」では、発達障害をとりあげ発達障害の当事者でもありスピーチセラピストでもある村上由美先生を6月にお呼びして大変示唆に富むご講演をいただきました。10月24日には「保護者をめぐる課題」として小野田正利先生をお招きし、「難しくなる保護者対応・近隣住民対応～学校としてしてはいけないこと、すべきこと」というタイトルでご講演いただきました。来年の3月19日総会時には「教師をめぐる課題」について水野治久先生をお招きしてご講演いただく予定です。各ブロックの活動とともに学校心理士としてのスキルアップのために、本研修会にご参加いただき一緒に学べますことを切に願っております。

最後になりましたが、2015年9月9日、公認心理師法案が参議院本会議にて全会一致で可決し成立いたしました。日本にも晴れて心理職の国家資格ができることとなります。ここまで紆余曲折を経ましたが、長きに渡り力を尽くしてくださった士会本部の諸先生方や日本心理諸学会連合の先生方へ心から感謝したいと思います。また集会等への呼びかけに足を運んでくださった会員の皆様や直接的間接的にご尽力いただきました会員の皆様へも心から御礼申し上げます。

今後も本会の活動にご協力いただけますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

以上

## 平成27年度東京支部総会を開催いたしました。

今年度も、大勢の会員の皆様のご参加をいただき、総会を実施いたしました。

平成26年度の活動報告、決算報告、平成27年度の活動計画、予算案について慎重なご審議をいただき、閉会することができました。

また、平成27年度は事務局体制についても変更がありましたが、総会でのご承認をいただき新事務局も事務局会や研修会実施などで動いております。今後も、これまでと変わらず、会員の皆様のご理解とご協力をいただきながら運営していきたいと考えております。よろしくお願い申し上げます。

## 平成27年度事務局について

支 部 長	田 村 節 子	顧 問	石 隈 利 紀 芳 賀 明 子
副 支 部 長	井ノ山 正文		
事 務 局 長	高 崎 浩 史		
会 計	松 井 彰 子	岩 間 恵 美 子	
研 修	山 田 睦 子	斉 藤 円 佳	
記録・広報	斉 藤 廣 意		
会 計 監 査	中 村 淳 子	腰 川 一 恵	
事 務	斉 藤 久 美 子		

## 各ブロック代表者一覧

1ブロック	川 瀬 洋 子	nescom-8739@da2.so-net.ne.jp
2ブロック	塩 田 有 子	
3ブロック		
4ブロック	斉 藤 廣 意	flyingboys1054@yahoo.co.jp
5ブロック	高 野 利 雄	
6ブロック	佐 川 幸 代	massasacchi@nifty.com
7ブロック		
8ブロック	西 川 勝 美	042-665-2087
9ブロック	星 井 純 子	hoshi3181_57@aioros.ocn.ne.jp
10ブロック	井ノ山正文	inoyama@nona.dti.ne.jp

開催日：2015年6月6日（土）

講演 「アスペルガー症候群と私 ―当事者・支援者・家族の立場から―

講師：村上 由美 先生 言語聴覚士・認定コーチングスペシャリスト

今回の研修では、ご自身がアスペルガー症候群であるという村上先生にご講演いただきました。当事者であり、支援者であり、家族である立場から子ども時代から現在に至るまでをご自身の経験を通して語っていただくという大変貴重なものでした。

3歳まで言葉を話さなかったこと、多動で落ち着きがなかったこと、偏食であったこと、などが早期発見された理由だったそうです。しかし当時の大学病院では、「母親の愛情不足」と言われたり、小学校では教師に説明をするが理解されなかったりなど、現在から数十年前のこととは言え、発達障害への理解と研究が発展途中であったことが伺えます。



そして学童期、思春期、青年期と成長していく中では、人との関わり方や価値観の違いに戸惑いながら過ごされてきました。一連の時期を通して課題となっていたのは、①人との関わり方（相談力・親、友人との距離の取り方など）②自立生活の習慣づけ（整理整頓・お金の管理など）③客観的に自己を捉える（自身の障害の自覚・人間関係の割り切り方）④気分転換方法（居場所づくり）で、特に人との関わりが必要となる相談力については、高度なスキルが必要であることを教えてくれました。信頼できる相手を選ぶこと、具体的にどのように伝えるか以外にも、思い込みにより目標と現状のギャップが認識できていない時には整理する手助けが必要とのことでした。また、各課題の対応策で私が印象に残ったものは③についてのものでした。「本人が実感するまで伝え続ける」というものです。周囲との違いを理解できる瞬間がくるまで伝えるというものでした。支援する側としては、一般的価値観が伝わりにくいことで、焦りや諦めを感じることもあるかもしれません。しかしこのシンプルな答えは、思考の固さはあるが、いつか理解できる時のための一指標を与え続けること、その意味と可能性を表した当事者ならではの答えであると感じました。

また、当時欲しかった支援については①理解者（感覚の違いなど）②相談相手（問題点を指摘し一緒に考えてくれる・進路・時間や物の管理方法など）③枠組み（授業の集団行動）が挙げられていました。しかしこのような支援が少なかったとは言え、現在は生活の工夫を行いながら仕事やご夫婦での生活を送っているのも事実です。村上先生は周囲にお願いしたい支援に「自身（発達障害児）のセルフ・トレーニング」を挙げてい



ます。人から教わる経験・交流から異なる常識や考えがあることを知って欲しいとおっしゃっていました。コミュニケーションの課題は社会生活を送る上でやはり切り離せないようです。

おわりに、私達が発達障害の子どもに出会った時に、考えることの一つとして「周りの人はどのように支え・工夫

しているのだろうか」といった「支える立場の視点」があるのではないのでしょうか。しかし、私達はあくまで子どもの「支える立場」でしかかなり得ません。子どもが何に葛藤し、どんな支援を欲しているのか、その子の視点で分析して考えることの大切さを村上先生の『生きた話』で改めて感じさせられました。

### 日本学校心理士会東京支部ホームページについて

東京支部会員間においてリアルタイムでの情報共有を進めるためにホームページをリニューアルオープンいたしました。ぜひ、ご活用ください。ホームページの内容は、「研修会案内」「ブロック活動」「お知らせ」などです。今後はブロック会の研修情報や活動内容などもご案内していきたいと考えています。ホームページのアドレスを登録していただきたいと思ひます。

<http://jasp-tokyo.com/>

### 編集後記

10月24日(土)、小野田正利先生(大阪大学大学院)を講師としてお迎えし、「難しくなる保護者対応・近隣住民対応～学校としてしてはいけないこと、すべきこと」をテーマにご講演いただいた。(会場：TKP渋谷カンファレンスセンター)唐草模様の上着を纏い、迫力と熱意ある口調で語られる事例の数々は今日の学校状況を的確に表す内容であった。また、学校に対し様々な訴えを投げかける保護者への対応などについても多くのヒントを提供していただいた。さて、なぜ保護者対応や地域対応が難しくなってきたのであろうか。学校とは、本来授業を軸に展開される場であり、教員は授業をいかに児童・生徒に提供するかという点において腐心することが主眼であった。しかし、病院では「患者様」、役所では「お客様」と呼ばれる時代の流れの中では、学校に求められるサービスの質も大きな転換を求められるようになったこと。そして、消費社会は公教育をも産業化の渦に飲み込んでしまったことが要因としあげられるであろう。そのような中で、保護者・地域への対応の困難さを抱える学校も多い。今回の研修では、そのような困難さを改善していくことへの手がかりを得られたのではないかと考えている。今後も学校現場に活かせる研修を続けていきたいと思ひている。

(井)